

2009 9月 25日 金曜日

函館市地域交流
まちづくりセンター
1階 cafe オタジィラ

参加料無料
17:00~18:30
(開場 16:30)

科

学

夜

話

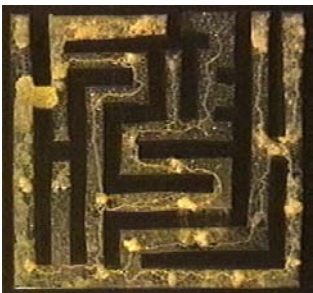
単細胞が迷路を解く!?



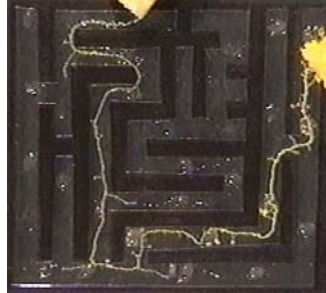
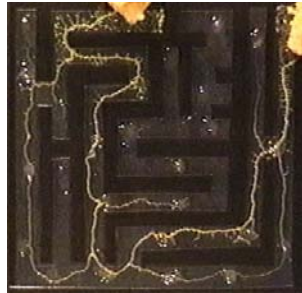
中垣 俊之(なかがき としゆき)氏
北海道大学電子科学研究所准教授

1963年愛知県生まれ。87年、北海道大学薬学部卒業。89年、同大学大学院薬学研究科修士課程を修了。97年名古屋大学大学院人間情報学研究科博士課程修了。2000年11月より現職。昨年、ノーベル賞のパロディー的な「人々を笑わせ、そして考えさせてくれる研究」に対して与えられる賞である、イグノーベル賞を受賞した。

「単細胞」と広辞苑で引くと、「行動の単純な人」という意味があります。ところが、単細胞も迷路を解く等、意外と賢いことがわかってきました。巨大なアメーバである粘菌変形体という生物の賢さについて皆さんと一緒に考えてみたいと思います。また、イグノーベル賞の授賞式の映像や画像を見ながら、授賞式の様子についてお茶をいただきながらお話をうかがいます。



迷路一面に広がる粘菌



最短経路にだけ管を残した粘菌